

**授業概要**

「東洋」、「オリエント」、「アジア」地域に生まれた思想、思想家について、それが誕生した歴史的背景、思想内容、そしてその思想がもつ現在の意義を講義する。さらにそれらの思想が、世界各地に、また現代に、どのように変容しながら伝播し、他の地あるいは現代にまで影響を与えているのかについて講義する。

**授業計画**

第1回	はじめに 東洋思想史とは何か
第2回	人類と信仰
第3回	インド思想の成立
第4回	釈迦の思想①釈迦の生涯
第5回	釈迦の思想②思想内容
第6回	釈迦の思想③伝播と変容
第7回	アラビア半島の思想
第8回	一神教思想
第9回	律法主義思想
第10回	中国の思想①諸子百家
第11回	中国の思想②日本への影響
第12回	「ウエスタン・インパクト」とアジア ナショナリズム
第13回	「反近代」の模索①岡倉天心とR,タゴール
第14回	「反近代」の模索②M.K.ガンディー
第15回	東洋思想と西洋思想
第16回	筆記試験あるいはレポート

**到達目標**

- ①東洋思想、思想家について基礎的知識を習得し、思想家、思想内容の関連も理解できる。
- ②東洋思想家、思想の生まれた歴史的背景と、現在の意義が理解できる。

**履修上の注意**

東洋史概説の履修者がのぞましい。

**予習・復習**

授業計画に従って、大学図書館などで基本的な知識を予習する。講義後は、プリントと参考文献を読んで知識を深めておくこと。

**評価方法**

授業中の態度、リアクショペーパーの内容 50%、学期末の筆記試験またはレポート 50%

**テキスト**

テキストは使用しない。授業中にプリントを配布する。参考文献は適宜紹介する。